



虫取り遊び

梵珠少年自然の家

1 活動のねらい

- 自然の生き物に触れあう楽しさを味わうことができます。
- 生き物を愛護する心を養うことができます。

【教科への対応】 小学校：生活、理科、総合など 中学校：理科、総合など

【組合せ可能な活動プログラム】 ザリガニ釣り、ぼんじゅモルック、梵珠ディスクゴルフなど

2 活動の概要

「虫取りあみ」と「虫取りかご」を使って、虫取り遊びをします。虫の種類を決めて採集したり、いろいろな虫を数多く取ったり、目的に応じて行うことができます。また、自然の家にある「カブトムシ牧場」で幼虫探しを行うこともできます。取った虫や幼虫は、じっくりと観察した後、また自然に帰してあげます。

(1) 人数 80人以内

※貸し出しできる虫取りあみやかごの数の限りがあるため、5～6人ひとグループで実施することをお勧めします

(2) 対象 制限なし

(3) 期間 6月下旬～9月下旬

(4) 時間 1～2時間

(説明・準備15分+活動45～105分)

(5) 場所 キャンプ場ほか

(6) 経費 無料

(7) 指導 実施方法等について、自然の家職員が説明（直接または間接指導）を行う。



<虫取りあみ・虫取りかご>

3 準備物

団体	救急薬品
個人	汗ふきタオル、帽子、軍手、運動しやすい服装、虫取りあみやかご（持参できる場合）
自然の家	虫取りあみ、虫取りかご、ピブス、無線、スズメバチ用殺虫剤

4 引率者の役割分担

役割名	内容
代表責任者	1名。全体の総括、指揮、連絡にあたる。
活動支援者・パトロール	数名。安全に活動できるよう支援する。 ※うまく虫取りができない子どもにはコツを教えるなどの支援を行う。

5 活動の流れ

	内 容
説 明 準 備	<ul style="list-style-type: none"> 虫取りや観察の仕方などについて説明する。 虫取りあみ、虫取りかごなど貸し出しする。 ※活動支援者には、危険箇所など、必ずついてほしい場所などを指示する。
活 動	<p>①スタート地点から虫取りを開始する ※引率者は、各グループについてもよいし、パトロール形式で回ってもよい。 ※「虫取りあみ」に限りがある場合は、1匹取ったら交代とか、時間で交代とかを決めて行わせる。 ※「虫取りかご」に入れる時、前につかまえた虫に逃げられないように気をつける。</p> <p>②合図をしてゴール地点に集合する。 ※遠くにいて気づかないグループには、無線を使って終了を伝えるようにする</p> <p>③希望に応じて「カブトムシ牧場」へ移動し、幼虫さがしを行う。 ※グループを大きく二つに分けて、同時進行してもよい。</p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 採集した虫を観察し、観察後自然に帰す。 ふりかえり、借用物品を返却する。



トノサマバッタ



ショウリョウバッタ



コオロギ



オニヤンマ



シオカラトンボ



クロアゲハ



キアゲハ



カマキリ



アブラゼミ



カブトムシ幼虫

6 実施上の留意点

- 当日、自然の家職員と引率者全員で、事前確認を行う。(やり方、危険箇所、役割分担など)
- 参加者の健康状態を把握する。

<ぼんじゅで採集できる虫たち>

7 安全に実施するためのポイント

- 軍手など（手にフィットするもの）を着用させる。
- 熱中症対策のため、こまめな水分補給をさせる。
- 活動エリアや危険箇所がわかるような引率者の配置をする。

8 エリア地図

- 右図参照

